

挑む!

「キセカエシューズ」発案

安藤 友介さん(32)

靴だって お着替えしたい



神戸市出身。2013年に靴の企画・生産・販売をする会社を設立。キセカエシューズのアップパーは定価3990円から、ソールは8500円（税込み）。

「キセカエシューズ」。アップパー（靴の上部）とソール（靴底）がファスナーで結ばれ、簡単に着脱できる靴のことだ。考案したアップパーのデザインは、花柄やストライプなど100種類を超える。「服と同じように、靴も手軽に履き替えられ、オシャレを楽しめたら、旅行の時とか楽しいでしょ」2015年から、「Johnny & Jessy」のブランドでネット販売を始めた。神戸を拠点に全国を回り、各地の商業施設で期間限定店を開くな

どでファンを増やしてきた。月150万〜200万円を売り上げる。

大学を卒業後、父が神戸市で営む婦人靴メーカーに入社。1年ほど米国に留学し、英語力も磨いた。「いつか海外でも勝負できる製品をつくりたい」日本と海外を頻繁に行き来する生活の中で、複数の靴を持ち運ぶのは難しいと思ってきた。その経験が、アップパーを取りかえるだけで何種類もの靴に履きかえることが可能な「キセカエシューズ」の発案へと結実した。

商品化の際に頼りにしたのは、地元神戸の靴職人たちだった。13年に起業し、職人たちと一緒にアップパーなどの形状や素材の研究を重ねた。ネット販売で徐々に人気が出て、15年度のグッドデザイン賞に選ばれた。「メイドイン神戸の商品で世界を狙います」

文・写真 近藤郷平

記者から

アイデア商品が生まれ、神戸の靴職人たちの仕事も増える。そんな好循環が起きて欲しい。